

師 走



12月に入り、今年もあと1ヶ月足らずとなりました。1年が過ぎるのがはやく感じられます。ところで、話は変わりますが、12月のことを師走と言います。なぜ師走というか知っていますか？師が走る季節という意味なのですが、では師とはいったい誰でしょうか？実はこれにはいくつかの説があり、定まっていません。では、どんな説があるのか紹介しましょう。

1 師＝御師

御師とは寺や神社などへ参拝してくる人々の案内をする人のことです。年末年始は、寺社を参拝する人が多いので師が走るほど忙しいという説です。



2 師＝お坊さん

年末になるとお盆と同じようにお坊さんが家に来てお経をあげるという習慣があります。今は少なくなったようですが…。だから12月になるとお坊さんがとても忙しくなるからという説です。

3 師＝先生

先生とはもちろん学校の先生のことです。12月はテストの作成・採点、成績処理、個人懇談、通知簿の作成など、とても忙しい月です。だから、師とは学校の先生を指すという説。

4 「し・果たす」

師走を「し」が「果たす」という意味で、「し」が終わるとい説のことを指します。「し」とは「仕事」や「四季」、「年」を意味しており、1年の最後の意味合いが強いという説です。



5 「当て字」説

奈良時代に書かれた「古事記」「日本書紀」には「12月」と書いて「しはす」と読み仮名がふられています。もともと奈良時代の人々は12月を「しはす」と読んでいたのです。これに意味なく師走という漢字を誰かが当てただけという説です。

どうでしょうか。「師走」というたった2文字には、様々な意味の説があるのです。みなさんはどの説を支持しますか？

さて、みなさんにとって2016年（平成28年）は、どのような1年でしたでしょうか？みなさんにとっての重大ニュースは何だったのでしょうか？リオオリンピック・パラリンピックの開催？市尼崎高の甲子園出場？SMAPの解散？トランプ新大統領の誕生？

私にとっては大きな変化の年でした。それは何と言っても、この杭瀬小学校に転勤してきたことです。教諭で尼崎市に採用していただいて以来、ずっと昨年までの34年間、中学校に勤務してきました。（間に3年間、市教育委員会にいましたが）それが今年の4月、小学校への転勤を命じられたのです。まさに晴天の霹靂でした。当初は戸惑うことが多かったですが、周囲のみなさんの助けもあり、何とか今日まで勤めることができました。本当に感謝しております。2017年（平成29年）も引き続きよろしくお祈りします。



杭瀬小学校

12月

日	曜日	児童活動・学校行事
1	木	ペースランニング 読書週間 放課後学習
5	月	委員会活動 人権週間 朝会 ノートコンテスト表彰
6	火	ペースランニング 個人懇談 人権週間
7	水	個人懇談 人権週間
8	木	ペースランニング 個人懇談 人権週間
9	金	個人懇談 人権週間
12	月	歯磨き指導(1年)
13	火	ペースランニング
15	木	ペースランニング終了 放課後学習
19	月	児童集会
21	水	給食終了
22	木	終業式 大そうじ
23	金	天皇誕生日
1/10	火	3学期始業式

ペースランニング

【目的】

- ・進んで外に出て、体を動かそうとする意欲を高める。
- ・寒さに負けない、丈夫な体をつくる。

自分のペースを知り、そのペースよりもすこし速い走りを試してみる。「もう少し!」と思える気持ちが足を前に進めているようです。朝晩寒くなってきましたが、風邪に負けずに丈夫な体をつくりたいものです。規則正しい生活を送り、十分な睡眠や食事に気をつけ、手洗い・うがいに心がけましょう。胃腸にくる風邪で休む連絡も少し増えてきました。

自転車教室

3年生を対象に、自転車教室が開かれました。命を守るためにも、ルールやマナーを守り、安全な自転車の乗り方を進めてほしいと思っています。教室に参加した人は、「免許証」を発行してもらえます。



小田公民館（和食薬膳料理講座）

11月26日（土）10:00～

小田公民館主催の講座が、杭瀬小の家庭科室を会場として、実施されました。

多くの参加者で、盛況な様子でした。



3回の講座

- ・薬膳料理の基礎
- ・体質別レシピ
- ・症例別レシピ
- ・実習等の内容で実施されました。

地域との関わりを大切にしながら、協力できるところを進めています。「土曜学習」で図書室の利用も



行っています。(9:30～12:00)【読書や宿題に】
12/3、12/17、1/7、1/21、2/4、2/18、3/4、3/18

歴史探訪事業（石造物研究会）

「小田地区南部の石造物を訪ねて」ということで、小田公民館行事として11月4日に杭瀬小学校に来校されました。



モニュメントの中に刻印石と矢穴のある石がある。

刻印石⊕は日向佐土原島津

右馬頭忠興3万石。刻印サイズは直径21cm。佐土原藩は現在の宮崎県佐土原町（薩摩藩の支藩）